



No.83 2020.10.16

明石市コミュニティ・スクールだより
人をつなぎ 未来をつなぐ 明石のコミュニティ・スクール

コミコミスクスク

KOMIKOMISUKUSUKU

明石市教育委員会事務局学校教育課

令和2年度『地域とともにある学校づくり』推進フォーラム in 愛媛 これからの学校づくりと地域づくり～「社会に開かれた教育課程」から～

今年度はコロナ禍で開催はどうなるのかなと思っていた『『地域とともにある学校づくり』推進フォーラム』がデジタルフォーラムとして開催されることになりました。個人的には

デジタルフォーラムという形の方が多くの人に参加してもらえるので、コミュニティ・スクールを考えるきっかけになるのではと思っています。

【<https://manabi-mirai.mext.go.jp/2020/10/in-5.html>】
第1部：ビデオ・オン・デマンド 10:00 配信スタート

★基調提案

(1) コミュニティ・スクールの可能性

～導入効果の検証と具体的実践を通して～

愛媛大学教職大学院リーダーシップ開発コース宝本 将 先生

(2) コミュニティ・スクールで育てる児童の市民性

愛媛大学教職大学院リーダーシップ開発コース井出 和弘先生



★事例発表

(1) 「大好き泉川」地域協創への挑戦 ～社会に開かれた教育課程の実現～

新居浜市立泉川小学校長 高橋 美鈴先生

(2) 光り輝け！城南プライド ～CSとカリキュラム・マネジメント～

宇和島市立城南中学校主幹教諭 木村 貴幸先生

★パネルディスカッション「愛媛からの風 ～学校と地域の協働について～」

- コーディネーター 愛媛大学教職大学院 遠藤 敏朗 特定教授
- ・パネリスト①学校 宇和島市立城南中学校 山本 浅幸 校長
- ・パネリスト②家庭 愛媛県 PTA 連合会 宮崎 恵 副会長
- ・パネリスト③地域 えひめ子どもチャレンジ支援機構 仙波 英徳 事務局長
- ・パネリスト④大学 愛媛大学教職大学院 高橋 葉子 特定教授

第2部：ライブ配信 13:30～14:40

マイスター座談会『CSマイスターが語る“これからの学校づくりと地域づくり”』

- コーディネーター：CSマイスター 森 保之（福岡教育大学教職大学院教授）
- ・スピーカー①：CSマイスター 赤松梨江子（徳島県：東みよし町立三加茂中学校事務室長）
- ・スピーカー②：CSマイスター 畦地 和也（高知県：黒潮町教育委員会教育長）
- ・スピーカー③：CSマイスター 黒瀬 忠行（高知県：佐川町立黒岩小学校校長）
- ・スピーカー④：CSマイスター 西村久二夫（愛媛県：一般財団法人コミスクえひめ代表理事）

第1部はビデオ・オン・デマンドで10:00から配信スタートされ、1か月程度いつでも見ることができるようです。第2部は13:30から約1時間ライブ配信されますので、第1部は“時間のある時に”と分けてみることも可能になるので参加しやすい形になっていると思います。12月4日の東京で開催される推進フォーラムもデジタルフォーラムで開催されるようで、今後こうしたデジタルフォーラムが多くなっていくのではと思います。参加には申込が必要ですので、次のサイトからお申込みください。

<https://manabi-mirai.mext.go.jp/2020/10/in-5.html>



令和2年度「地域とともにある学校づくり推進フォーラム」
デジタルフォーラムサポートメールマガジン（メルマガ）登録サイトです。
フォーラムへの参加（視聴）を希望される方は、必ず登録をお願いします。
メール配信により参加方法をお知らせいたします。
登録は無料です。
登録前に info@mitaka-sc.net からのメールを受け取れるよう
設定してください（セキュリティをかけている方）。
⇒設定によって迷惑メールに振り分けられることがあるようです。

これからの学校づくりと地域づくり

本大会の大会テーマ“これからの学校づくりと地域づくり～「社会に開かれた教育課程」から”は新学習指導要領を実現するにはコミュニティ・スクールが欠かせないというメッセージだと感じました。コミュニティ・スクールは地域の人にサポートしてもらおう仕組みと勘違いをされることがあり、私自身がそうでした。マスコミ等でも連日取り上げられている大阪都構想の報道で、“都構想によって学校が良くなる・悪くなる”という意識調査には違和感を感じました。コミュニティ・スクールに携わる中で、これからは住民自身が当事者意識を持った主体的なまちづくりが持続可能なまちづくりには必要だということを知り、コミュニティ・スクールが今なぜ推進されているのかが自分自身の中でつながりました。学校をつくるのは行政や教育委員会まかせではなく、教職員、保護者、地域住民、そして子どもたちが当事者意識を持って“自分たちの学校をつくる”という意識を持ち、新しいカリキュラムデザインの中で地域との連携・協働を取り入れていくことがますます必要になってきています。そうした仕組みが動く中で未来を創り、これからの社会を支える市民が育っていくのだと思います。そうした持続可能な学校づくりと地域づくりをめざしていくのが明石のコミュニティ・スクールだと考えています。

「この町の問題には全く興味がなく、
どうでもいいことだと思っていました」
「いつか誰かが解決してくれる」
「困ったらよそへ引っ越そう そんなふう
に考えていました。」
「しかし今は目の前にある問題を自分の
事として考えられるようになりました」



本大会で“これからの学校づくりと地域づくり～「社会に開かれた教育課程」から”というテーマで、どのような対話がおこなわれるのか楽しみです。

まず申し込んで参加してみませんか。

(文責：北本)